

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇産廃からはじまる想像・創造展が開催  
—攻めのリユース・リサイクル—

## ■随想

◇2002年 レバノン旅行記（3）—道路の横断は命懸け—

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

## ■編集後記

## ■トピックス

◇産廃からはじまる想像・創造展  
—攻めのリユース・リサイクル—

6月11日～18日にザ・パークレックス日本橋馬喰町4Fと7Fで開催された、産廃からはじまる想像・創造展「[THROWBACK](#)」について紹介します。これは、「一度棄てられたモノを、再び社会に投げ返す」というコンセプトのもとに産業廃棄物を新たなプロダクトに生まれ変わらせるプロジェクトで、[株式会社ナカダイ](#)と[株式会社オープン・エー](#)の共同事業です。

展示会4Fの入口のフロアでは道路の信号機やドラム缶など、様々な不要になった物が展示され、それらの不要になったモノたちが、何となくどこか寂しげな表情を見せていました。

その後、展示会7Fのフロアに行くと、不要品として展示されていたのと同じモノたちが、店舗の飾りつけだったり、テーブルだったりで見事に再生され、生きたモノとして見事に光り輝いていました。

これらは元々の物の形を失うリサイクルや元々の用途と同じ目的に使われる単純なリユースでもなく、全く異なった用途や目的に変身して生まれ変わった姿でした。アップサイクルと言われていきます。



展示会のもよう

また、展示会を主催している関係の方にお話を伺う機会がありましたが、不要になったモノをその会社が受け入れる場合には、不要なモノの排出元に出向いて、リユース・アップサイクル・リサイクルの観点から使い道をデザインし、それに合わせて最も適切な出し方を構築するのだそうです。これはまさに「攻めのリユース・リサイクル」だなと感じました。

塩ビのリサイクルは塩ビ管・継手や農ビなど比較的進んでいると考えられますが、更に「攻めのリユース・リサイクル」の視点を取り入れることで、塩ビ全体のリユース・リサイクルが益々推進していけるのではないかと期待がふくらみます。

## ■ 随想

### ◇2002年 レバノン旅行記（3） 一道路の横断は命懸け一

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

私が乗ってきた飛行機、午前1時50分にベイルートに到着（遅れたわけではなく、予定時間通りの到着です）。

12年前の記憶しかない私の目の前に現れたのは… 照明が煌々と輝く、成田空港と変わらない、いや、それ以上に分かりやすく使い勝手のいい空港が。

飛行機を降りると、両替所、入国審査、バゲッジ・クレイム、税関が、ただまっすぐ歩いて行くだけで全て通過出来る配置になっています。

入国審査も日本でVISAを取得しておく、パスポートを「ピッ」とスキャナーにかけて、入国スタンプを「ポン」と押して終わり。荷物もすぐに出てくるので、飛行機を降り、全ての審査を終え、荷物を受け取るまで僅か3分。

ドイツの入国審査で、パスポートの写真欄を定期券のように「チラッ」と見せて通過したのがこれまでで一番簡単な（いい加減な？）入国審査でしたが、これに続く簡単さです（ドイツの場合、荷物が出てくるまでに20分ほどかかりましたが）。

※ 日本人はベイルート国際空港到着時に入国VISAを取得することも出来ます。

この場合は、上記より時間がかかります。

空港の外ではホテルまでのタクシー探し、そして、中近東でお約束の料金交渉をしなくてはと、気合を入れて外に出ると。

「空港からのタクシー料金はメーター制です。安心してお乗り下さい」

の表示が。怪しい白タクもおらず、気抜けしてしまいました。

空港からベイルート市内への道も、立派な高速道路。でも、やはりここは中近東。

タクシー運転手が飛ばす、飛ばす。確かに、深夜だし、道はガラガラ。  
でも、ベンツのタクシーのタイヤを鳴らし、横滑りしながらコーナーに突っ込まなくても。。。。

私 「レバノンには制限速度はないの？」

運転手 「大丈夫。スピードメータ殺して、今何キロで走っているか分からないようにしてあるから」

私 「そ、そ、そういう問題かあ (-\_-; 」

スピードメータを見ると、確かにメーターは動いていませんでした（単なる、整備不良だったのかもしれませんが。。。）

あの、ジェットコースターのようなタクシーの走り。深夜だからと思ったのは大きな間違い。レバノンには、

- ・ 歩行者優先、歩行者保護
- ・ 譲り合い、やさしく走ろう

はありません！ > キッパリ

歩行者が道路を渡ろうとしても、止まって道を譲ろうとするドライバーはいません。歩行者が道路を横断しているのを見ると、ドライバーはクラクションを鳴らしながら、減速もすることなくそのまま突っ込んでいきます。

道を横断するときは、左右をよく見て、命懸けで渡ります。

それ以前の問題として、横断歩道が見当たりません（あっ、1カ所だけ見たなあ）。

信号機もよほど交通量が多く、大きな交差点以外はありません。

信号機のない交差点で一時停止はありません。

クラクションを鳴らしながら、強引に突っ込み、どちらかビビってブレーキを踏んだ方が道を譲ります。

上り下り2車線ずつの広い通りでは、車線を示すラインなどありません。

対向車が来なければ、4台の車が競い合うように並んで走り、対向車が来たら、気の弱いドライバーが道を譲ります。

タクシーやミニバスは時間が勝負ですから、もっと強引。

ひたすらクラクションを鳴らし、対向車が来ようが、歩行者がいようがお構いなしで突っ走ります。

ジェットコースターやスリルが好きな方にはお勧めです。

それでも、ほとんど交通事故の場面にお目にかからないのはなぜ？

やはり慣れの問題なのでしょうか？

気の弱い人は、決してレバノンでは運転出来ないでしょう。

(つづく)

次回は、(4) -移動手段- です。

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

関東地方も梅雨入りしましたが、梅雨といえばしとしとと小雨が降り続けるのが梅雨のイメージですが、近年はカラッと晴れた日が続いた後にいきなり激しい集中豪雨になることがよくあります。さすがに新幹線も豪雨では止まってしまいます。その後再開してもダイヤは混乱します。こんな場面に出会うと不運ですが、大阪方面から東京に行くときは新大阪発の列車は比較的優先して発車することがよくあり、少し安堵した経験がありました。特にこの季節は新大阪発を選ぶようにしています。



この季節は、濃い青色が相応しい色だと思います。青色のアジサイは爽やかな感じで、鳥ではコバルトブルーの羽根色のカワセミをみるとほんのひと時なごみます。(UCH)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601    ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp>    ■ E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)